



座談会報告書 2022.3.23

1.座談会開催の背景

民話における現状

語り継ぐ人がいない

語り継ぐ体制がない

民話を使ったコンテンツが少ない

資料の保存状況に危機感がある



民話アニメを通じ、海の学びを広く子どもたちに提供するために、

民話アニメを **教育現場で活用** できないか？

その可能性を探るための座談会を開催。

2.実施概要

「海ノ民話のまちプロジェクト」座談会

タイトル：海ノ民話のまち教育現場における活用の可能性

日時：令和4年2月9日（水）18：30～

場所：公益財団法人 日本財団 2階 1・2 会議室
東京都港区赤坂1丁目2番2号日本財団ビル

協力：日本教育新聞社

目的：海ノ民話を教育現場で活用するための
計画策定づくりのための調査会

Program

- ①海と日本プロジェクトとは・・・中嶋氏
- ②海ノ民話のまちプロジェクトとは・・・沼田氏
- ③今年度の民話紹介（1～2本）
- ④民話の現状と課題について・・・調査事業映像
- ⑤有識者とのトークセッション・・・議事進行：堀口氏
- ⑥来年度の海ノ民話のまちプロジェクトの展望・・・柴田氏
- ⑦日本財団ご挨拶・・・小嶋氏



3.座談会のテーマ

- ✓ 本アニメ自体が、**子どもの教育に活用可能か**
- ✓ 活用可能な場合、**具体的にどのような手法**が考えられるか
- ✓ **どのような実証実験**が必要か

座談会に参加した有識者



田村 学氏

國學院大學教授
元文部科学省視学官



齋藤 博伸氏

文部科学省
初等中等教育局 教育課程課
教科調査官
(生活・総合的な学習担当)



浅見 哲也氏

文部科学省
初等中等教育局 教育課程課
教科調査官
(道徳科担当)



万年 美穂氏

東京都中央区立
月島第三小学校
教諭



里 浩彰氏

お茶の水女子大学
サイエンス&エデュケーションセンター
特任講師



富川 岳氏

遠野文化友の会副会長
遠野遺産認定調査委員
遠野市観光協会理事

4.座談会サマリー① 教育活用の可否

Q.本アニメ自体が、子どもの教育に活用可能か？



齋藤 博伸氏

最新作・長野県小海町に伝わる「くじらの夫婦」について：
人間にとって災いとなる自然災害が、実は山の恵みを海に運ぶというストーリーでした。
学校で活用すれば子どもたちが、**海や山などの自然に目を向けるきっかけになるだろう**と思いました。



浅見 哲也氏

道徳科の授業で活用するなら、まず長さがちょうどいいですね。
現在の学校向けのコンテンツは、題材となる物語や動画などを10分程度で提示して、
残りの35分は子どもたちが話し合う活動を想定して作られています。ですから
6分弱に収まっている「海ノ民話アニメーション」は、授業で用いるのに適していると感じました。



万年 美穂氏

「海ノ民話プロジェクト」は、民話の選定やアニメ制作にあたり、
地域の実行委員会を立ち上げているのですよね。
もし、**子どもたちが実行委員会に加わり、制作に関われたら学びが広がり、
発信力や表現力の選択肢が増え、意義ある活動になるのではないかと**思います。



里 浩彰氏

海から離れた地域での海洋教育の支援、
とくに海になじみの少ない子どもたちに海に親しんでもらう出張授業をおこなっています。
私のバックグラウンドは理科教育なので、「くじらの夫婦」を見たときに、
大気や水の循環など、理科的な観点からも扱える教材ではないかと思いました。



富川 岳氏

民話の選定プロセスで、親や先生といった身近な人ではない
**「外の大人」が盛り上がっている、その様子に子どもたちが触れ、
場合によってはシナリオを考えるなど参画の機会があることが大事**ではないかと思えます。
それが地域を再認識する「自分ごと化」につながるからです。



4.座談会サマリー① 教育活用の可否

Q.本アニメ自体が、子どもの教育に活用可能か？



POINT 1

幅広い視点で、**様々な授業でアニメの活用の可能性を実感**
(道徳、社会、理科、海洋、地域の総合的な学習の時間)

POINT 2

5分程度のアニメという発信手段が活用されやすいと感じた
(限られた授業カリキュラムの中に取り入れやすい)

POINT 3

学校現場と地域をつなぐツールにもなり得る

4.座談会サマリー② 活用手法

Q. 具体的にどのような手法が考えられるか



齋藤 博伸氏

原作が民話ということから、**今と昔をつなげる時間軸で考える**こともできます。
お話に出てきた場所は、今はどうなっているんだろうと、
実際に足を運ぶなどの活動も考えられると思います。
そうした活動を通して、自分たちの地域の再発見につながり、
他の人達にも**この話を知ってもらいたいと子どもたちが伝える側**にもなれると思います。



浅見 哲也氏

道徳科の授業では、子どもたち一人ひとりが人間としてのあり方や
生き方の基礎になる「道徳的諸価値」を理解するために、
「A 自分自身に関すること」
「B 人との関わりに関すること」
「C 集団や社会との関わりに関すること」
「D 生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」
4つの視点から内容項目を定めています。
海の民話は、**特にDの視点での内容に関連付ける**ことができそうです。



万年 美穂氏

小学校4学年の総合的な学習の時間で、
地域の言い伝えを劇にする活動をしたことがありました。
古文書にわずか数行しか書かれていない言い伝えを子どもたちが解読するのは難しく、
結局、**教員が手を貸して子どもたちが自分たちの力で作ったという
達成感を味わわせることができませんでした**。もしその時に
「海ノ民話」のようなアニメがあったら子どもたちの想像力も広がっただろうと思いました。



4.座談会サマリー② 活用手法

Q. 具体的にどのような手法が考えられるか



POINT 1

授業の特別枠ではなく、
教科書に基づく授業の一環としても活用が可能

POINT 2

地域の総合的な学習の時間、表現、発表会
などの場で活用が可能

POINT 3

既存アニメを元に、子どもたちが議論し、
一緒に民話を作ることで、（アナザーストーリー的なこと）
自分事化し、民話の発する警笛や
学びへの理解をより深めることができる

4.座談会サマリー③ 実証実験の方法

Q.どのような実証実験をしていけば、実証できるのか



富川 岳氏

子どもたちが興味を引き付けられる教材には、共通点があります。

▽国内外の人から高く評価されているもの

▽一流のもの

▽受賞歴があるもの

▽多くの人が見ていること などです。

自分たちの地域にあるものが外部から評価されると知り、自分たちの地域や文化、歴史に誇りを持つことができます。

その意味で今回のアニメは、コンテンツそのものだけでなく、その**民話をめぐって誰が注目しているのか、誰が興味を持っているのかを可視化するのが普及のポイント**になると思います。



浅見 哲也氏

日本の学校では宗教教育は行いません。にも関わらず道徳性を身に付けられるのは、目に見えないものの存在を信じる、例えば「おてんとさまが見ているから」といった意識が自然と地域の人々の間に根付いているからだと思います。

もし**自分たちの地域に伝わる民話から、こうした道徳的価値を抽出することができれば、効果的に活用できるのではないのでしょうか。**



万年 美穂氏

もし、**子どもたちが実行委員に加わり、制作にかかわることができたら**

学びが広がり、発信力や表現力の選択肢が増え、意義ある活動になるのではないかと思います。



4.座談会サマリー③ 実証実験の方法

Q.どのような実証実験が必要か



POINT 1

教科書の**単元に紐づけた授業内容**の構築

POINT 2

子供たちが表現できる**アウトプットづくり**をすることで、
子どもの**学びの実体験の質**をあげる

POINT 3

発信者は教育者に限ることなく、
子どもたちへの影響がある
アニメ関係者やクリエイターを活用するなどし、
より強い興味喚起につなげる

4.座談会サマリー④ 総括

環境、伝統、文化、多様な学びに結びつく「海×民話×アニメ」への期待



田村 学氏

私はこの「海ノ民話アニメーション」には3つの特色があると受け止めました。

1つは「海」というテーマです。

これほど多様性やつながりに富んだ題材はないと思います。ですから、海を授業で扱うこと自体が、学びの広がりを生む。そうした価値に私たちは目を向けるべきでしょう。

2つめは「民話」であること。

そこに込められたメッセージや教訓、価値は、子どもたちが学習するにふさわしいものが明確に位置づいています。

3つめは「アニメーション」ということ。

絵や音楽で、しかもコンパクトな長さで視聴することで、子どもたちは親しみが持てます。これらが揃っていることから、学校での利活用の可能性を見出せるのです。

現在、**国は学習指導要領のコード化を進めています。**

文部科学省が示している学習指導要領の内容、単元等に共通のコードを設定して、学習に関する様々なデータをより横断的、体系的に利活用することを目指しています。

今後は教科書のみならず、さまざまな教材にもこのコードが付与され、学校で子どもや先生が教材を使いやすくなっていきます。

そうしたことも視野に入れながらアニメの学校での活用を提案してもらえると、地域の枠を越えて汎用性の高い、授業づくりのヒントになるのではないのでしょうか。

一方、総合的な学習の時間や学校行事など、**教科よりもさらに自由に学校の独自色が出せる教育活動**があります。

総合的な学習の時間で扱うテーマとして、学習指導要領にはいくつか例示がされています。国際理解や情報、環境、福祉、健康、地域の暮らしや伝統、文化などと多彩です。

海は環境問題とも結びついていますし、伝統や文化そのものを反映されたものが民話だと言えます。

4.座談会サマリー④ 総括

教育活動との 多様な親和性を実感

民話アニメーションは、
たくさんの教科や
活動とリンクする
ポテンシャルがあることを
改めて実感できた



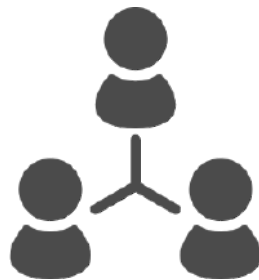
学習指導要領へ紐付けなど 普及に向け課題を発掘

活用には技術的工夫が必要。
学習指導要領に紐づけること、
子どもたちに広く活用してもらう
ために、既存アニメの
活用ガイドラインを設けるなど、
事前準備が必要である



子どもだけではなく 大人の巻き込みも重要

クリエイターをはじめ
多くの大人にも
興味を持ってもらい
アニメPRにつなげる
発信の場を増やす
取り組みも必要



教育現場で活用する 指標を得られた

ターゲットが
子どもであることから
学校、教育現場は
切り離せない連携先となる。
それを踏まえ、教育現場で
アニメを活用するための
指標が得られた



5.次年度以降の具体施策案

01

学習指導要領と
アニメの関連付け

02

具体的
授業メニューの
構築

03

学校授業との
連携を
1か所実施

